

四国歩きお遍路 発心の道場(徳島県)

第2回 2010年5月27日(木)~31日(月) 18番札所~23番札所

	月日(曜)	天気	スケジュール	宿泊地
1	5/27(木)		名古屋駅 23:00==JRバス==	車中泊
2	5/28(金)	晴	==JRバス==5:10 徳島駅 6:00.....8:48 十八番札所 恩山寺 9:35.....10:39 十九番札所立江寺 11:25..取星寺・沼江大師.....16:11 宿	金子や
3	5/29(土)	晴	宿 7:10.....8:40 二十番札所鶴林寺 9:20..... 12:02 二十一番札所太龍寺・番外舎心ヶ岳 14:05..... 17:20 宿	旅館山茶花
4	5/30(日)	晴	宿・二十二番札所平等寺 7:45...月夜御水庵・弥谷観音.... ...16:00 二十三番札所薬王寺 17:00 日和佐駅 17:47 ++JR 普通++19:39 徳島駅 23:37 ==JRバス==	車中泊
5	5/31(月)		==JRバス==5:42 名古屋駅	

1日目 5月27日(木)

今回もJRバス「オリーブ松山号」を利用して出発。1週間ほど前から風邪に罹り医者通いをしていたので、事前にウォーキングをして足慣らしが出来なかつたので歩けるかどうか心配。

2日目 5月28日(金) 歩行数 : 28.8km 歩行数 : 51,982歩

早朝の徳島駅に着く。コンビニで朝食を購入して、駅構内のベンチで摂る。お遍路姿に身支度を整えて第1回の続きを歩き始める。10分ほど歩いたところで自転車に乗った女性に「ご苦労さん」と声を掛けられる。東の空が明るくなってくる。国道55号線を一路南下する。歩き始めて1時間位したころからお腹が痛くなってきたので、ガソリンスタンドでトイレを借りる。「大師お杖の水」「源義経上陸の地」をへて十八番札所恩山寺へ2時間50分ほど掛けて着く。十九番札所へは、山越えの源平合戦で源義経が通った弦巻坂を通り、お京塚に寄ってから十九番札所立江寺に1時間ほどで着く。立江寺を出て取星寺・沼江大師を参拝して、二十番札所鶴林寺のある麓の宿に泊まる。



眉 山



室戸まで134km



弘法大師お杖の水



恩山寺迄八丁



源平合戦・源義経上陸地点



十八番札所恩山寺・仁王門



竹藪の中のへんろ道



源平合戦で義経が通った弦巻坂



路地裏を通るへんろ道



お京塚



しらさぎ橋・もうすぐ立江寺



十九番札所立江寺・大師堂



前方の山を越えて



十九番奥の院取星寺・大師



古い道標



沼江大師



鶴林寺へ9km



金子や

3日目 5月29日(土) 歩行キロ : 22.1km 歩行数 : 41,187歩

宿を7時10分に出立、鶴林寺への3. 1kmは思ったより厳しい道だった。歩き出してすぐに急な坂道になり、水呑大師までの1. 5kmで2度も休憩を取ってしまい、二十番札所鶴林寺(海拔500m)へは予定より30分も遅れて到着。境内には徳島県内最古の丁石がある。次の二十一番札所太龍寺へは、一旦山を海拔50mまで下る、石段が多く、足に負担がかかり思うように歩けず、1時間遅れ、那賀川を渡ると太龍寺への上りの道が始まる。歩くこと1時間半、太龍寺の山門(海拔520m)が見えてきた。参拝後、大きい弘法大師像がある「番外の舍心ヶ岳」へ、600mで70m上の急坂を青息吐息で上る。大師像のあるところからは、徳島市、小松島の街が遠望できた。二十二番札所平等寺へ、太龍寺の駐車場まで1. 1kmで130m下り、更に2. 8kmで230m下りやっと平坦な道になる。1時間半歩いて阿瀬比の遍路小屋で小休止。ここから大根峠(海拔200)を越え、1時間半歩いて、二十二番札所平等寺の脇にある、旅館山茶花に着く。平等寺を参拝してから宿に入る予定でしたが、歩きに時間がかかり17時の閉門時間を過ぎていた、明日、早く参拝をすることにする。



鶴林寺登り口



急坂の途中で一休み



水呑大師の水飲み場



十丁石



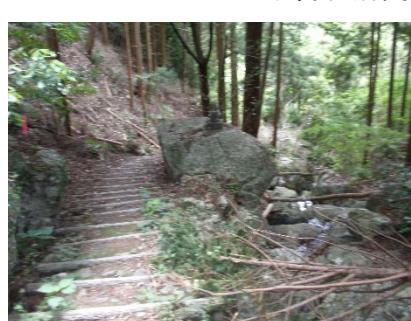
道しるべ(あと900m)



二十番札所鶴林寺(海拔500m)



太龍寺への道しるべ



へんろ道



民家の庭先を通るへんろ道



十七丁石



へんろ道



十二丁石



二十一番札所太龍寺(海拔520m)



舍心ヶ嶽(海拔530m)で



へんろ道



阿瀬比へんろ小屋



二十二番へ二十丁



二十二番平等寺へ 六丁



旅館山茶花

24畳の舞台付き広間で寝る。

4日目 5月30日(日) 歩行キロ : 24. 4km 歩行数 : 45140歩

昨日は、午後5時を回ってしまったので、参拝することができなかった。朝食後、寺の開門を待って、平等寺へ参拝し、山茶花で荷物を受け取って予定より45分遅れて出発する。45分歩いて、月夜御水庵へ、ここから更に45分歩いて鉢打のへんろ小屋に着くここで小休止をし、国道から分かれて脇道を15分歩いて弥谷観音に着き、急な石段を約100m登ると本堂があった。ここから予定では国道55号を歩いて二十三番札所薬王寺へ行く予定であったが、旅館山茶花の奥さんに、海岸経由の方が良いと勧められていたので、予定を変更して海岸経由で行くことにする。70分歩き由岐坂峠で小休止、ここから下り、一時間歩いて田井ノ浜海岸に着く、遍路小屋で休憩する。目の前は「室戸・阿南海岸国定公園」の海が広がっている景勝地。次の休憩所まで、あと1時間半の道のりと歩き始めたのですが、なかなか次の休憩所に着かない2時間もかかってしまった。帰宅してから確認したら、山座峠の下り道で途中からへんろ道に入らなければならないのを見過ごして、一般道を歩いたので1. 5km程余分に歩く。恵比寿

休憩所で小休憩をした後、一路二十三番札所薬王寺を目指す。途中の接待所で声を掛けられたが、丁重にお断りして薬王寺へ急ぐ。何とか閉門前に着く。山門の石段を上がり、男厄坂42段、還暦厄坂62段と石段が多く、左膝が痛くなり、降りるのに難儀した。薬王寺で今回は打ち止め。予定ではもう少し先まで歩こうと思ったが、膝の調子が良くないと、コースを途中で変更したのでペース配分が上手くいかず思ったより時間がかかってしまった。駅前のうどん屋で「厄除けうどん」を食べてから、日和佐駅からJRに乗り、徳島駅へ、今回も、サンルートホテルの10階の温泉に入り汗を流す。徳島駅構内でバスを待つていると、杖と菅笠を持った人が入ってきたので声を掛ける。土岐市から来て、1番から17番まで打ち終わり、今夜の同じバスで帰るとのこと、時間まで色々と話をする。



二十三番札所薬王寺



番外月夜御水庵と石碑



鉢打遍路小屋



番外弥谷観音



R55ルートと海岸ルートの分岐



由岐坂休憩所



田井ノ浜へんろ小屋



田井ノ浜海岸





白浜休憩所



俳句の小道



恵比寿浜の休憩所



日和佐町文化財



薬王寺遠望



二十三番札所薬王寺



5日目 5月31日(月)

定刻通り名古屋駅に着く

第2回

3日間歩行キロ数 : 75. 3km

3日間全行程歩数 : 138, 309歩

累計

7日間歩行キロ数 : 161. 4km

7日間全行程歩数 : 305, 994歩

森 靖夫 記

